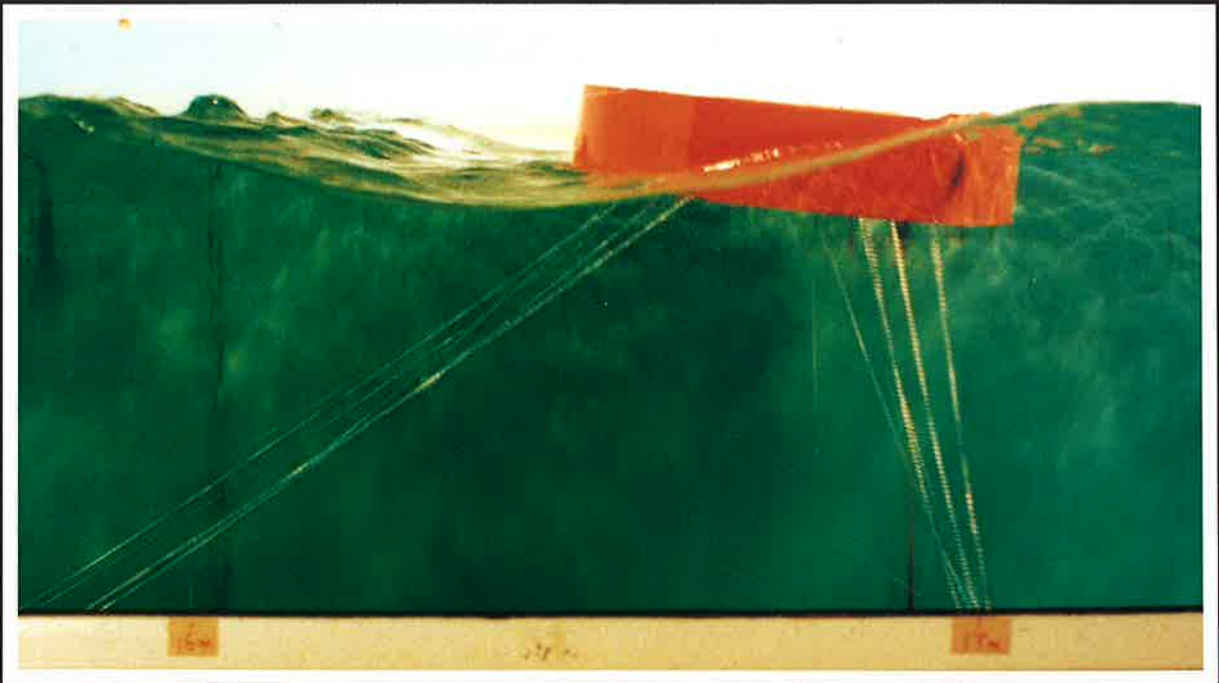


水 理 実 験 用

2 次 元 水 槽

(造波水槽)
(可変勾配水槽)



WEST JAPAN FLUID ENGINEERING LABORATORY CO., LTD.

造波水槽

特徴

2次元的に現象を解明するのに適した細長い水路から成るいわゆる2次元水槽に造波装置を組み込んだものです。波は規則波、不規則波を発生することができます。

さらに水面に風をつくる送風装置と水流をつくる回流装置を取付けることができます。水底の変化も自由です。これらの組合せにより波、風、流れ、水底の影響による自然界の現象が再現できます。側面の広い観測窓からの観察が容易に行えます。

仕様

- 水槽本体：幅×水深0.8m×0.8mの断面で長さは各種（別表参照）
- 観測窓：高さ×長さ1.2m×2.0mのガラス窓が計測部の全域の両側に設置
- 造波装置：プランジャー型、電気サーボ方式
波高=Max150mm、同期=0.5~2.5sec
- 消波装置：ビーチ式
- オプション：別頁参照

可変勾配水槽

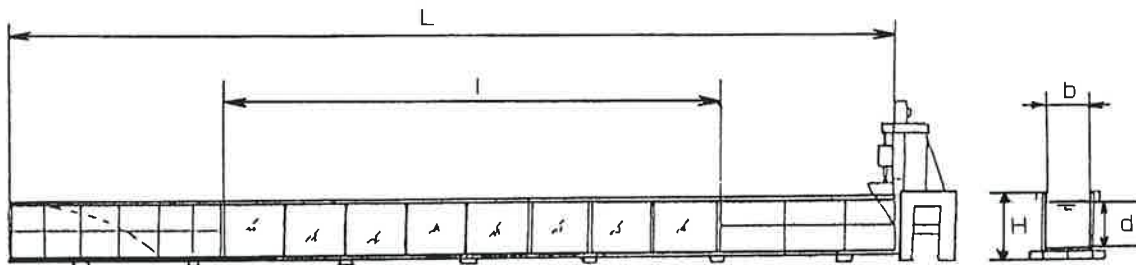
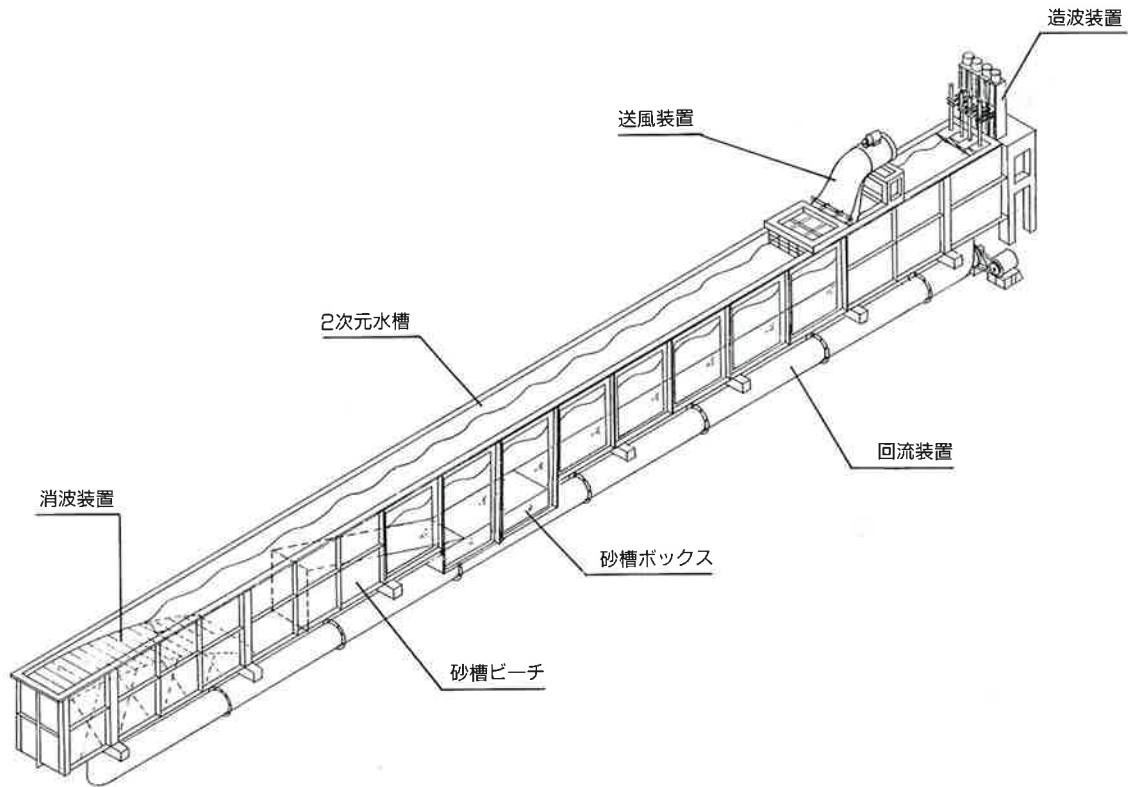
特徴

2次元水槽の勾配を自由に変えることができるので、水面の勾配をコントロールすることが可能です。上部に整流槽、下流に上下両用ゲートが設けられています。ゲートを交換することなく越流およびもぐり流の実験を行うことができます。さらに、このゲートを密閉して、静水槽として使用することもできます。水槽の両側面には広いガラス窓が設けられています。

仕様

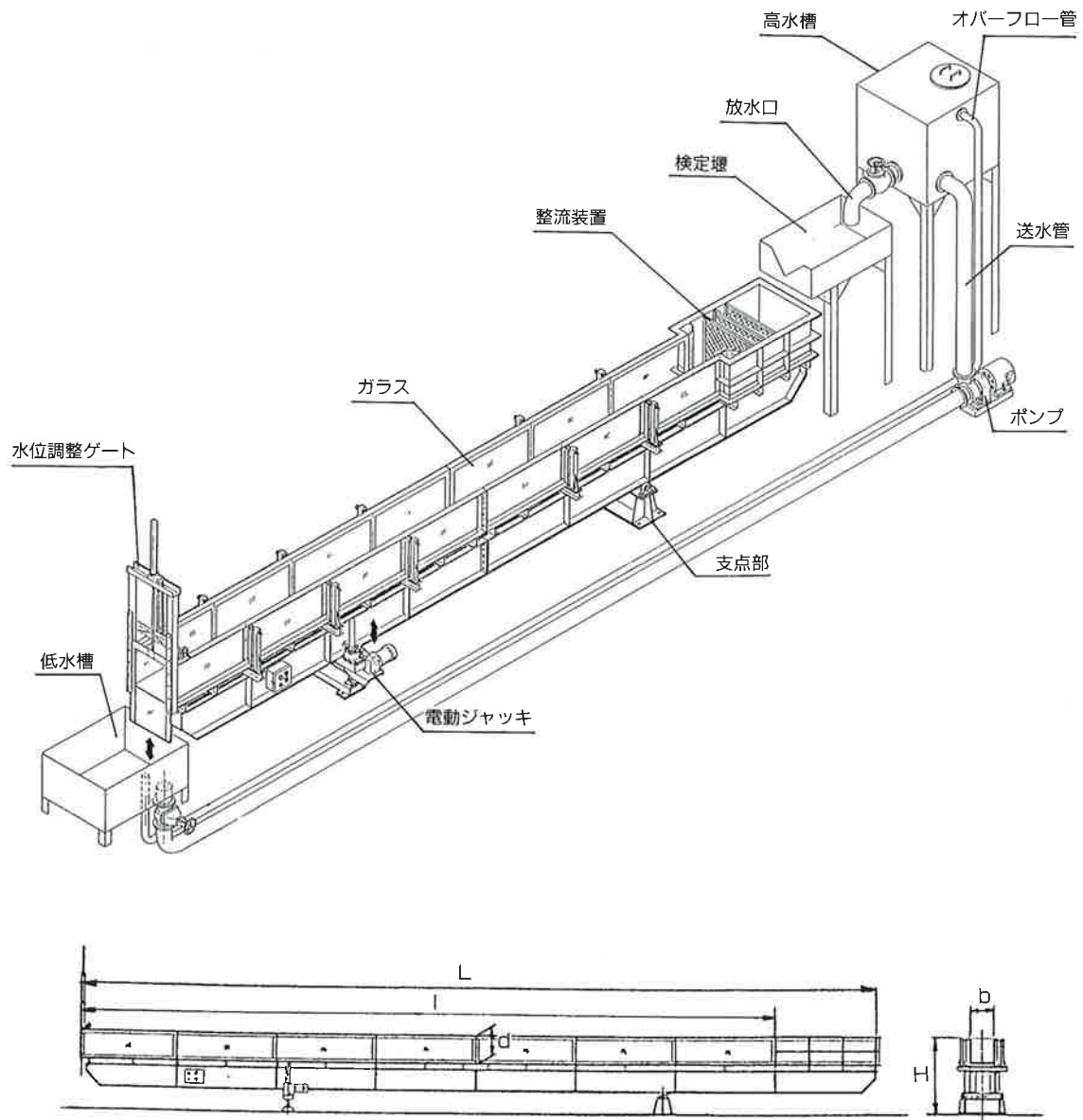
- 水槽本体：幅×水深0.5m×0.5mの断面で長さは各種（別表参照）
- 勾配可変装置：電動ジャッキ式
設置可能勾配=±1/50
- 整流装置：整流板およびフィルター
- 水位調整ゲート：長ストローク、上下両用ゲート、手動ハンドル
- 側面観測窓：フロートガラス（両面）
- 本体精度調整装置：測定部の幅及び底面の微調整用ジャッキボルト
- オプション：別頁参照

造波水槽 (TWタイプ)



水槽型式	全体寸法 (m)		観測部寸法 (m)			水量 (ton)
	L	H	l	b	d(水深)	
TW-2	20	1.6	10	0.8	0.8	13
TW-4	40	1.6	30	0.8	0.8	26
TW-6	60	1.6	50	0.8	0.8	39

可変勾配水槽 (VSタイプ)



水槽型式	全体寸法 (m)		観測部寸法 (m)			水量 (ton)
	L	H	l	b	d (水路高さ)	
VS515	15	1.6	13	0.5	0.5	4
VS520	20	1.6	18	0.5	0.5	5
VS530	30	1.6	27	0.5	0.5	8

本仕様は、改良のために変更することがございますので御了承ください。

オプション

●造波水槽

送風装置 装置内に整流部を設ける均一な風を発生させます。

回流装置 下部循環路に、プロペラを設置し流れを発生させます。

砂槽ビーチ } 側面観測窓を設け砂槽中の砂移動挙動観察ができます。
砂槽ボックス }

●可変勾配水槽

循環装置 (構成：高水槽・検定堰・低水槽・送水装置)

連続した実験が可能になります。

(その他試験目的に応じた計測装置等も設計製作いたします。)



造波水槽



可変勾配水槽